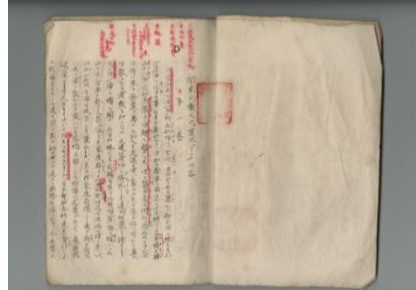


2022年9月1日は、関東大震災発生から99年の節目の日
『関東大震災大火実況』[弁士説明版]、
『大正十二年九月一日 帝都大震災大火災 大惨状』公開のお知らせ



左より：『関東大震災大火実況』の弁士説明を担当した山城秀之氏、冊子「映画『関東大震災大火実況』説明台本」（制作年不明）、
『大正十二年九月一日 帝都大震災大火災 大惨状』1923年 京橋端で映画撮影を行っているクルー

いつもお世話になっております。2022年9月1日に、関東大震災発生から99年を迎えます。その節目の日であり、防災の日でもあるこの日、「関東大震災映像デジタルアーカイブ」は、1年前の2021年9月1日のサイト創設時に公開した『関東大震災大火実況』（1923年）の弁士説明版を公開することにいたしました。かつて使用されていた本作の説明台本を基に、弁士の山城秀之さんが新たに台本を作成し、本年5月14日に当館にて行った活弁伴奏音楽付き上映を記録したものです。ギターの色に乗せた弁士の語り加わること、ひとつひとつの場面に具体性が付され、状況をより鮮明に理解することができるでしょう。同時に公開いたします『大正十二年九月一日 帝都大震災大火災 大惨状』（1923年）は、『関東大震災大火実況』とほぼ同一の素材により構成された作品で、上野精養軒に設けられた救護出張所の様子や、激しく焼損している陸軍造兵廠東京工廠の建物を捉えています。無蓋貨車に避難した一家を収めた場面では、後に大衆音楽の著名な作曲家となる幼少期の三木鶏郎が映っています。

『関東大震災大火実況』[弁士説明版]（66分 | 2022年 | 白黒 | 制作：国立映画アーカイブ）

公演・音声収録：2022年5月14日（土）於：国立映画アーカイブ [2階] 長瀬記念ホール OZU

弁士：山城秀之、伴奏：湯浅ジョウイチ

『大正十二年九月一日 帝都大震災大火災 大惨状』（27分 | 1923年 | サイレント | 白黒）

「[関東大震災映像デジタルアーカイブ](https://kantodaishinsai.filmarchives.jp/)」とは（<https://kantodaishinsai.filmarchives.jp/>）

- ★1923（大正12）年9月1日に発生した関東大震災について、当館が所蔵する関連の映画フィルムなどの資料を公開するWEBサイト（制作：国立映画アーカイブ、国立情報学研究所）。
- ★「撮影場所」、「シーン（写されている事象）」で分類された「クリップ」単位での検索・閲覧が可能で、作品のディテールをより深く、横断的に見るできるようになっています。
- ★関東大震災発生から100年にあたる2023年9月1日までに、当館で所蔵する関東大震災関連の全ての映画フィルムの公開を目指しています。
- ★『「関東大震災映像×専門知」によるコラムのページ』と題し、分野の異なる専門家が関東大震災映像を読み解くコラムの掲載し、随時更新しています。
- ★サイトで公開している関東大震災関連の映像に関する資料や、関東大震災と映像との関係を考えるうえで助けとなる資料を掲載し、随時更新しています。現在は、『関東大震災大火実況』の弁士台本など3点を公開中。

つきましては、ぜひとも本サイトのご紹介をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ】

国立映画アーカイブ「関東大震災映像デジタルアーカイブ」広報担当
電話：03-3561-0823 / FAX：03-3561-0830 / E-mail：kanto1923@nfaj.go.jp

『大正十二年九月一日 帝都大震災大火災 大惨状』クリップ一覧



場所：千代田／シーン：焼失、倒潰・損壊、避難生活の場
被災した牛込駅や焼失した車両とともに、無蓋貨車に避難した一家の中に、幼少期の三木鶏郎の姿が写っている



場所：千代田／シーン：焼失、倒潰・損壊
神田川左岸から見た、激しく焼損している陸軍造兵廠東京工廠の建物



場所：中央／シーン：倒潰・損壊
激甚な被害を受けた京橋のたもとで、ハンドクランクの映画カメラを回している撮影クルー



場所：台東／シーン：救助・救護・救援
上野精養軒に救護出張所を設け、外来患者の診療を行った東北帝國大學救護班の活動風景

【本件に関するお問い合わせ】

国立映画アーカイブ「関東大震災映像デジタルアーカイブ」広報担当
電話：03-3561-0823／FAX：03-3561-0830／E-mail：kanto1923@nfaj.go.jp